

Radio18

Radio18制作のラジオ番組
「Art Time Junction」
81.5Mhzエフエム高松
毎月第1水曜日22:00~23:00

「香川を伝える~University radio project~」

NOW ON AIR



すべて学生が制作するラジオ番組、 オンエア中

香川大学では、香大生の自主的な活動を応援する「香大生の夢チャレンジプロジェクト」を実施しています。平成27年度に採用されたプロジェクトの一つが「香川を伝える~University radio project~」。香大生が番組を制作し、コミュニティFM局のプログラムの一つとして実際に放送されています。番組の制作を行っているのは、学科を越えて集まった11名のグループ「Radio18」。代表を務める経済学部3年廣瀬渉さんは「3年かけてここまで成長しました」と、力を込めます。

「Radio18」が誕生したのは2年前。2013年の瀬戸内国際芸術祭を香大生がレポートする取り組みの一環で、「ラジオで芸術祭を紹介する」という形で始まりました。昨年は、その時のメンバーに新人を加え、自主的な活動として大学内の気になる人物を紹介する30分番組を制作。そして今年度、プロジェクトに採用されたことで、本格的な1時間の番組制作を開始しました。テーマは、大学の視点から香川の魅力を伝えること。「香川生まれの僕でも、当たり前と思っていた場所で知らなかった魅力

に気づくことが多い。もっと多くの人に香川のことを知ってもらいたい」と廣瀬さん。企画・制作から編集まで自分たちだけで行い、ラジオ局に持ち込むのは完成したデータだけ。100%「メイドイン香大」のラジオ番組です。

より良い番組作りのために、「Radio18」ではメンバーのスキルアップを図っています。例えば、夏には山口県のコミュニティFM「FMきらら」や、広島経済大学の学生が運営する「FMハムスター」に研修を兼ねた視察に行きました。また、プロのアナウンサーの方を招聘して講演を依頼するなど、自分たちの能力を高めるために努力しています。「声だけで伝えるのは難しく、抑揚だけでも感じ方が変わる。でも、そこにおもしろさがある」。廣瀬さんは人の声を持つ力に可能性を感じています。

2016年は瀬戸内国際芸術祭が開催されます。「Radio18」は、もう一度芸術祭を伝えたいと願っています。「前は作者の言葉を紹介するのがやっと。今度は僕らの言葉で伝えたい」。どんな放送を届けてくれるのか、今から楽しみです。

